

## 議員特別研修実施報告書

報告議員名	宮川拓也	報告日	令和6年3月31日
調査研究・研修等 名称	模擬議会質問研修パート1、パート2		
実施日	令和6年3月29日		
会場	福岡市リファレンス駅東ビル		
調査研究・研修等の 概要	<p>模擬議会質問研修パート1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絶対に押さえておきたい役所の仕組み</li> <li>・質問でダメなパターン紹介</li> <li>・一般論で聞くからボヤッと答弁される</li> <li>・効果的な議員活動に必要なこと</li> </ul> <p>模擬議会質問研修パート2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寝屋川市での実例から学ぶ</li> <li>・質問づくりの基礎と職員からの見え方</li> <li>・敵ではない！職員の上手な使い方</li> <li>・寝屋川市の先進的な政策の裏話</li> </ul>		
調査研究・研修等の 成果と感想	<p>今回のテーマである「議会質問」について、大阪府寝屋川市で議長を務めた議員側の講師と、昨年まで副市長を務めていた執行部側の講師の二名の方から、それぞれの立場での意見を伺いながら直接指導を受ける貴重な機会となった。セミナーでは、議会質問の重要性や効果的な質問方法など、具体的な事例を交えながら学ぶことができた。</p> <p>特に印象に残ったのは、「一般質問は本来『総括尋問』であるという考え方である。「納得するまで何度でも問い続けることが重要」という講師の言葉から、本来の一般質問のあるべき姿を学び、従来の質問に対する認識が変わったように感じる。</p> <p>また、「熱意のある職員を見つけ、味方につけることが重要」というアドバイスも非常に参考になった。熱量の高い職員と共に働き、課題を洗い出し解決に導くという協働の関係性を構築することが成功の鍵になるのだと思う。質問の精度を上げるためにも、議員単独で行うのではなく、そうした職員との連携が不可欠であることを改めて実感した。</p> <p>さらに、過去の議事録を研究し、同じような質問を調べることで、</p>		

より深く掘り下げた質問を行うことができると聞き、今後の質問準備においての大きなヒントを得られた。

自分がする質問事項の法律や規則の理解を深めることも大切であり、質問の枠組みを把握することでよりの確な質問を行うことができるとのことだった。質問力向上に向けて今後は法的視点からのアプローチも検討していきたい。

また、一点突破できる得意分野を持つことの重要性も伺い、専門性を高めて担当職員と対等に議論できる知識と経験を獲得する必要性も感じた。

セミナーでは、直近に行われた実際の質問を例に解説があり、具体的な事例から改善点を学ぶことができた。二人の講師から、当局側と議会側の双方の視点で、質問のあり方についてお話を聞くことができ、新たな気づきを得られた。また、講師と参加した議員の活発な相互間のやり取りもあり、有意義な時間であったと感じる。

今回の研修セミナーを通して、議会での質問に対する理解を深め、より効果的な質問を行うための多くのことを学ぶことができた。学んだことを活かして、市民のニーズに合致した質の高い質問を行い、市政の発展に貢献していきたいと思いを新たにしたい。今後は、積極的に情報収集を行い、専門性を高めるとともに、他の議員や職員と協力して、より効果的な質問を行うよう努めていきたいと思う。

※1調査研究・研修等の成果を証する書類の写しを添付してください。

※2調査研究・研修等に要した費用の支出を証する書類を添付してください。